

---

# 顔

人間椅子

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
顔

【Nコード】  
N0934P

【作者名】  
人間椅子

【あらすじ】  
ショートショートです。暇つぶしにどうぞ。

これは未来の話。

文明の進歩によつてエネルギー問題や食糧問題などのあらゆる問題が解決した。戦争や紛争などはずいぶん前から起こっていない。そんな平和な世界になった。

この世界の人間は性別や年齢、ましてや人間という形態にもとらわれない容姿を手に入れている。体の表面に極薄の膜を纏い、その膜から己の好みの人物を映し出しているのだ。これによつてひとは誰にでも、なんにでもなれるようになったのである。

技術の進歩によつて、人間は労働を強いられることもなくなった。人々はあまりある時間を趣味やパーティーに費やしていた。

そんなこの世界での、あるパーティーのことだ。そのパーティーは盛大なもので、老若男女、様々な人種の人々がごった返し、高価な酒や料理がふるまわれていた。そんななかで一組の男女の目があった。男は女に気があり、女は男に気があるようで、数秒間見つめあつた後に互いに近づいて話し始めた。しばらくすると連れ添つて闇に消えていく。そんな光景があちこちで見られた。

一人の男が女の視線に気づく。誘っているのか、しばらくすると女が近付いてきて、男にこう言った、行きましようよ。ああ、と男は答えた。男の腕は女の腕に絡められ、解くのに時間がかかりそうだ。何とも言えない、よい香りが男の鼻腔をくすぐる。女の香水だ。男はもう完全に女に中てられていた。

男はパーティーの喧騒を通り抜ける最中に誰かとぶつかる。すみません、と謝罪をして頭をあげると、どこかで見た顔であった。

「すみません何か？」ぶつかってしまった相手は怪訝な顔をしている。いや、なんでもなんでもないんです。すみませんでした。女に腕をひかれて、すごすごとその場を離れた。

しばらくして男は隣の女に目をやると、あることに気がつく。さっきのぶつかった女の顔がそこにあったからである。周りを見ると、そこらじゅうに同じ顔の女がいた。

なにかあったかと女は男に話しかける。いや、なんでもないと男は答えた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0934p/>

---

顔

2010年11月23日20時20分発行